

○意見要旨は、対応・検討を求めるものや提案・提起いただいているものを抽出しています。

○何度か事務局とやりとりをされている場合は1つの意見に集約しています。

◆Aグループ

番号	委員名	意見要旨	対応(案)
1	宮地委員	資料3-1 ⑫「来なくてもよい市役所」という表現は不自然ではないか。	「行かなくてもよい市役所」という表現に変更しました。
2	宮地委員	資料4-1 ④「主要な幹線道路の整備(蟬屋長塚線)」について、これから検討すると聞いているが、具体的な計画があるのか、	都市計画道路の中でも優先的に整備を進めていく、という方針のもと、具体的にすすめていく予定です。
3	宮地委員	資料4-1 ④「公共下水道の整備」について、1~2年で完了する話を聞いたが、完了後に範囲を広げる計画はあるか。拡大の予定がない場合、5年間の計画に掲載する理由は何か。	現在実施しているものを遂行する、という意味で記載しています。計画区域を拡大していく、という計画ではない。 掲載事業は、5年間継続して実施する事業だけでなく、計画期間内に実施が完了するものも含まれます。
4	佐曾利委員	資料4-1「子育てと女性の活躍応援事業の実施」活躍応援事業は具体的に何か。	出産や子育てを機に、仕事から離れている女性を、子育て支援をきっかけとして女性が社会で活躍することを応援する事業です。子育て支援課では、子育て支援コーディネーター事業「ぶらっと」(利用者支援事業)を通じて、女性(母親)のニーズに合った子育て支援サービスを案内するほか、働き方などについてのミニ勉強会を実施しています。
5	佐曾利委員	出産後、子育てが落ち着いた女性の再就職や職場復帰等の相談を行う場がないので、ハローワークのみならず、再就職に関するセミナー等の情報やリスクリングできる場が増えるといいと思う。	現在就労中の女性に対し、女性のキャリアアップに関する案内が県より届いた際、配架を行っています。市内においても女性の再就職や職場復帰等に関する課題解決に取り組む団体もありますので、関係課と連携しながら積極的な活動支援を実施していきます。 令和6年度犬山市合同企業相談会では、「ママ・ジョブ・あいち出張相談」として出産・育児などで離職した女性の再就職を支援するための相談コーナーを設置するなど、女性の再就職や職場復帰等を支援する取り組みを進めます。
6	増田委員	資料4-1⑥「UIターン」という言葉が難しいと思うので、言い回しを工夫するか、別ページで用語解説をしていることがわかるといいと思う。	別ページにて用語の意味を紹介・掲載します。用語解説に掲載されていることがわかるようにします。

7	藤本委員	アンケート調査では、「公共交通が便利なまちだと思いますか。」という設問に対して、半数以上が「思わない」と回答しているが、資料2中に記載の犬山市の魅力のひとつとして「駅が多い」と記載しており、違和感を覚える。	アンケート調査において、「住むまちとしての犬山市の魅力は何だと思いますか。」という設問に対しては、「電車やバスなどの公共交通の利便性が高い」という回答が上位にきており、犬山市を外から見たときの魅力であると考えている。通勤にも通学にも便利で住むにもよく、外でも活躍もしやすく、訪れやすい、という意味では、「駅が多い」というのはまちの魅力のひとつと考えています。
8	藤本委員	資料3-1 ④「移動手段を持たない人が困らないための、地域住民の「足」の確保についても様々な可能性を探りながら対応していきます。」と記載してあるが、具体的な可能性は何か。	高齢者等へのタクシー料金助成事業の充実や、定時定路線で実施している公共ライドシェアなど公共交通の充実に取り組んでおり、それらの実績の検証を行い、今後も様々な可能性を探っていきます。
9	増田委員	資料4-2 ⑤耕作放棄地が増えていることが課題として記載されているが、今後チャレンジ取組みから「耕作放棄地対策」を削除していいか。	現状は、耕作放棄地の発生抑制に注力していることから「今後チャレンジする」という項目から削除しています。
10	佐曾利委員	資料4-2 ⑥「シェアリングエコノミー」を「シェアエコ」とすると経済活動であることが伝わりにくいので、省略せずに記載してほしい。	省略せずに記載します。
11	佐曾利委員	資料4-2 シェアリングエコノミーについて、まちづくりに集約すると非営利的な地域活動として理解されてしまうので、表現方法を変えてはどうか。 取扱いについても考えてほしい。	掲載内容を見直ししました。
12	宮地委員	資料3-2 ⑧「金融機関や商工会議所、大学、民間企業等との連携」と記載があるが、JAも市と連携し、産業振興祭・農業祭等を実施しているので、「金融機関や商工会議所、大学、JA、民間企業等との連携」としてほしい。	本市では、各分野で多くの事業者や団体と連携して事業を展開しています。そのため、ここでは、市と地方創生に資する協定やいくつかの分野を包括して連携協定を締結している事業者や団体などを例示として示し、記載しています。

13	宮地委員	観光客の増加により、地域住民の困りごとが増えたり、インフラ整備をしなければならなくなるが、インバウンド観光客の増加はメリットが大きいことなのか。	観光客の増加は地域経済の活性化、郷土愛の醸成等に資するものですが、特に人口減少局面においては、交流人口の拡大はまちの活力の維持・向上のため、非常に重要であると考えています。これは今後、人口が減少していくと来訪者が少ない自治体では生活を豊かで便利にする施設（コンビニ、カフェ等の飲食店、ガソリンスタンド等）の売り上げは減少し徐々に消えていくと想定されますが、交流人口が多いまちは存続しまちの利便性や活力、魅力が維持向上されるという考えです。こうした視点からインバウンド需要の取り込みは、国内観光客とともに必要な施策と認識しています。しかしながら、観光客の増加に伴う地域住民の皆さまの生活への影響を軽減させ、来訪者と地域住民の生活の共存と調和を図ることは極めて重要です。課題を把握し改善のための取り組みを適宜捉えて進めます。
14	増田委員	資料3-3 ② 観光産業を上げ経済効果を「市全体に」という言葉は文章としては出ているが、資料4-3「今後チャレンジする主な取り組み」には記載がないので、具体的な取組の中にもまち全体へのアプローチすることがわかるようにしてはどうか。	掲載内容を見直しました。
15	宮地委員	アンケート調査について、高齢者の回収率が多いため、発送数ではなく、回収率が市民の年齢層に合うよう送付した方がいいのではないか。	今回のアンケート調査では、世代別人口の割合に応じた数を調査対象者として無作為抽出し、実施しました。次回以降の調査については、実施方法等を検討します。
16	藤本委員	犬山市の魅力のひとつに「豊かな自然がある」と記載されているが、「訪れたいまち」を目標とする取組みの中には、自然に関するものが③の1つだけだと思う。市民団体等が自然を活用したイベントの開催などを実施しており、もっと自然を活かしたPRや施策を追加してはどうか。	「豊かな自然がある」という魅力は、「訪れたいまちがある」という目標のみにかかるわけではなく、全体にかかるものだと考えています。また、資料4-3①「シティプロモーションを積極展開します」という重点事業内においても、豊かな自然があるという市の魅力を積極的に発信していきます。

◆Bグループ

番号	委員名	意見要旨	対応(案)
17	中山委員	市内企業で働いてもらう人を増やすために、市外での企業展等を実施し、同時に住むまちとしての魅力を発信するのはどうか。	Web上での求人・求職活動が活用され、来場型の給食イベントは減少傾向にあります。犬山市・江南市・岩倉市・扶桑町・大口町の3市2町による就職フェアを開催しましたが、参加人数が少なく、費用対効果の観点から令和6年度から参加しないこととしました。しかし、令和3年度から実施している犬山市単独の企業相談会では、市外に住む方にも参加いただき、一定の成果を得ていることから、引き続き実施予定です。 移住に関しては、栄にある情報交流スペースや東京で開催される移住フェア等に参加し、住むまちとしての魅力を発信しています。
18	松浦委員	春日井市では、市内大学生向けに市内事業所を知ってもらうための取り組みを実施し、市内事業所の就職率向上や定住促進につながった事例があるので、大学との連携がとれるといいのではないかと。	犬山市では産学官連携として、商工会議所と名古屋経済大学と市で連携交流に関する協定を締結し、この協定のもと三者で協議会を構成し、定期的な意見交換を実施していますので、ご提案のあった事例を紹介いたします。
19	玉置委員	資料3-1「来なくてもよい市役所」という表現に対して、批判的な意見もあるため表現を変えた方がいいのではないかと。	「行かなくてもよい市役所」へ変更しました。
20	鈴木(温)委員	資料3-1 ③「市街化調整区域での地域コミュニティの維持に向けた商業施設の立地を促進」と記載してあるが、市街化調整区域限定のように読めるので、表現方法を変更するべきだと思ふ。	「地域コミュニティの維持に向けて商業施設の維持及び立地を促進し、生活に不可欠な買い物などに困らないように、買い物の不便さを改善し、「住むまち」としての魅力を高めます。」との表現に改めます。
21	鈴木(温)委員	資料3-1 ⑪「子どもから大人まで誰もが」という部分は「子どもから高齢者まで」の方がいいのではないかと。	高齢者も含むという理解から「大人」という表現にしています。
22	鈴木(伸)委員	資料3-2 ⑤「農業でがんばる人を応援します」という部分について、担い手育成や新規就農者の確保に注力しても、農業で生活できる状況がないので、地域環境を維持することなどを目的にしてもいいのではないかと。	今後も地域農業が継続されるよう、数少ないがんばる農業者の確保・育成を続けるための施策展開として記載をしていることから、従前のおりの記載とします。
23	鈴木(伸)委員	「シェアリングエコノミー」はまだ使われている言葉か。「シェアエコ」は一般的ではないと思ふ。	現在もシェアリングエコノミーの事業実施等をしており、現在でも使用されている言葉です。用語の解説は別に記載します。

24	紀藤副会長	「子育て支援と教育に力を入れている」という部分について、本当にそう言えるのか、立証するべきではないか。	現在でも他の自治体にはない独自の取り組みを実施していたり、他の自治体と同じ事業であっても、犬山市ならではの、犬山市に合った特徴・特色ある事業となるよう取り組んでおり、今後も引き続き同様の考え方のもとで展開していきます。
25	紀藤副会長	犬山市に今足りていない部分は何かを知り、それを克服する、ということ具体的に記載した方が現実味があっていいのではないか。	市民アンケート調査や過去の調査等から犬山市の課題を把握し、全庁で共有した上で、さらには上位計画である総合計画の重点施策や、現時点での中事業計画などを参考に、具体的な展開方針であったり、取り組みを記載しています。
26	松浦委員	資料3-1 病児保育事業の実施など、あって当たり前なものやすでに実施していることを記載するとまだやってなかったのか、と思われるので、目玉になるようなこと、他市町村とは違う取り組みを記載した方がいいのではないか。	犬山市独自の事業・取り組みを記載することはもちろんのことですが、他自治体での同様の事業であっても、まちの目指す姿実現のためには、重点的に取り組む必要があると位置づける事業についても併せて記載していきます。
27	松浦委員	「産後ケア事業の利用促進」について、内容がわかりにくいので、もう少し具体性をもって見える化してはどうか。	戦略全体を通じて、基本的には、個別事業の詳細な内容は省略していますが、「産後ケア事業」とは具体的にどのような事業であるかが不明である、というご意見としますので、用語の解説として記載するか検討します。
28	紀藤副会長	児童クラブの施設に何度か行ったことがあるが、トイレは和式で建物や設備は古いという状況であり、その中で「子育て支援と教育に力を入れている」と書かれていても疑問が残る。今すぐに改善してほしい。	児童クラブについては、順次児童センターから学校の中でできるようにしています。トイレについても、学童児童センターに限らず、いろいろな施設で順次洋式化しています。
29	中山委員	他市と比較して、公園の遊具が老朽化しており、大きな公園がないという印象があるので、充実した公園を作ってほしい。	既存公園の再整備計画の策定を進めており、令和7年度にモデルケースとなる公園を選定して、地域の声を聞きながらより親しみが持て、利用が増えるような整備を検証します。
30	松浦委員	資料3-2 「がんばる企業と新たな起業を応援します」について、スタートアップの支援等を実施していると思うが、どんな支援があるかわかりにくいので、スタートアップの支援をしていることがわかるような文言が入るといい。	「がんばる企業と新たな起業を応援します」では、対象をスタートアップに限定していません。市では、市内で幅広く起業や創業する方への取り組みを行い、支援を実施しているため、「市内創業」という包括した表現にしています。

31	鈴木（伸）委員	「新たな観光産業を作り出す」と記載するのであれば、工業や農業などベースになる部分を先に取り組みべきだと思う。 犬山市で落としてもらったお金が、市内でまわるかたちを作らないといけない。	これまで観光とは関わりのなかったひと、組織、産業などと様々な地域資源とのかけ合わせにより新しい観光コンテンツの創出を目指しており、工業や農業分野においても対象として幅広く施策を進めます。市内消費の高まりは観光が産業として成長するために必須の視点ですので、市内にお金が落ちる仕組みづくりを念頭に置いて取り組みを進めます。
32	鈴木（温）委員	犬山市は外国人観光客の伸び率が全国1位になる等、外国人観光客が非常に多いと思うが、その対策や事業等の記載がないので、国際化に対応した施策を入れるといいのではないか。	チャレンジする重点事業「戦略ある観光まちづくりをすすめます」では、国内だけでなく海外の来訪者を対象に市民の皆さんにも参画いただきながら施策を進めます。なお、国際化に対応する施策の一例としてホームページ（犬山観光ナビ）や案内看板の多言語化、事業者向けにインバウンド対応のワークショップの開催など対応力の強化を図っています。
33	紀藤副会長	犬山市には、犬山城だけでなく、明治村やリトルワールドなどの施設あるため、市民が安く入れる等特典を設けると、犬山市に住む喜びにつながると思う。犬山市の魅力を具体的に示すといいのではないか。	市内施設への入場優待に限らず、市民が犬山市に住み続けたいと思い、また、市外の方が犬山市に移り住むことを魅力に感じることに繋がるような、自然や観光、歴史などの地域資源を活用した施策や事業の検討は、定住・移住の促進となりますので引き続き実施していきます。
34	鈴木（伸）委員	若い人たちに犬山市を知ってもらうために、ダイジェスト版等の気軽に着られる冊子を作成してはどうか。	現状ではダイジェスト版等の作成は予定していませんが、まちの情報を様々な人に知ってもらうことができるよう、発信方法等については検討していきます。
35	玉置委員	冊子もいいが、動画大量消費時代と言われているので、動画を作成することで、様々な人がみるのではないかな。	まちの情報を様々な人に知ってもらうことができるよう、発信方法等については検討していきます。
36	松浦委員	栗栖や今井、駅周辺や城下町等、地域での課題には差があるので、地域と特や課題が見える構成にしてはどうか。	第6次総合計画策定時に地域別の構想について検討しましたが、うまくいかなかった経緯があるので、今回は地域別での記載を見送りました。次回以降の計画策定時には、再度構成について検討します。
37	松浦委員	以前、市役所内で車いすに乗った人が障害者支援課から防災交通課へ移動していた。様々な課に行くのは不便なので、スムーズに手続きができるといいと思う。	相談を受けた課で責任をもって対応できるようにします。